

未来への導きがここにある。
ART & TECHに包まれる9日間。
「Media Ambition Tokyo」本日開催！



[日時] 2019年2/23(土) - 3/3(日) 10:00 - 22:00 ※開催期間は会場によって異なります

[会場] 六本木ヒルズ / 東京シティビュー / TOKYO culture research / TOKYO MIDTOWN [六本木]
アンスティチュ・フランセ東京 [飯田橋] / デジタルハリウッド大学 [御茶ノ水] / 日本科学未来館 [お台場]
代官山 T-SITE [代官山] / 九段 kudan house [九段] / 銀座蔦屋書店 [銀座]
TSUTAYA TOKYO ROPPONGI [六本木] / EDGEof TOKYO [渋谷]
MORI Building DIGITAL ART MUSEUM : EPSON teamLab Borderless [お台場]

[主催] 一般社団法人Media Ambition Tokyo

【プレスマテリアルのダウンロード先】

<http://www.image.net/mediaambitiontokyo2019>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当:御船 pr@mediaambitiontokyo.jp / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858

What's Media Ambition Tokyo ?

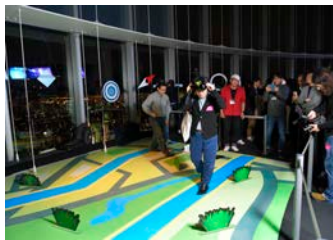
今年で7回目を迎えるMedia Ambition Tokyo [MAT] は、最先端のテクノロジーカルチャーを実験的なアプローチで都市実装するリアルショーケースです。六本木を中心に、渋谷、代官山、銀座、飯田橋、台場、九段など、都内各所を舞台に最先端のアートや映像、音楽、パフォーマンス、トークショー等が集結。国内外の様々な分野のイノベーターや企業、イベントが参画することで、多様なプログラムが都市のあちこちに有機的に増殖し、拡大し、つながり、MATはこれらを包括する活動体として成長を続けています。

2020年、そしてその先の未来を見据えて移動や通信、情報を含んだ都市システムのありかたが大きく変化している今、都市の未来を創造するテクノロジーの可能性を東京から世界へ提示し、ジャンルやカテゴリーの枠を超えたボーダーのない自由な実証実験により、未来を変革するムーブメントを実体化するようなテクノロジーアートの祭典を目指します。

Check !

六本木ヒルズ展望台に 人気ポケモンが集結！

ポケモンスコープを装着して、現実空間に溶け込むポケモンを探してみよう。AR(拡張現実感)技術により、東京の景色がそう映るのか、未来の日常をポケモンがそう彩るのかを垣間見ることができる！



Check !

宇宙開発プロダクトを 六本木で体験できる！

「ispace」による月面探査プログラム「HAKUTO-R」の展示が決定。来年打ち上げ予定の実物大のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査ロボット）が東京シティビューに出現。人類の夢の乗せて！



Check !

人とロボットの新しい関係 癒し系ロボットが登場

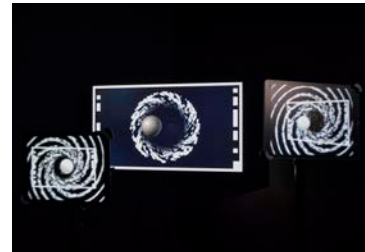
新世代家庭用ロボットの開発を進める「GROOVE X」から発表された「LOVOT」が登場。まるいカラダで移動と抱っこを両立。人間を安心させる体温を持ち、オーナーの行動や仕草に反応する高性能なAIを搭載している。



Check !

AIの創造性を テクノロジーで可視化

AIを用い、物事における真贋の本質を問う「PARTY」や「IMA」のようなAIの驚異的な学習能力を可視化する作品が多く並ぶ。テクノロジーアート×AIによって次世代の発見や気づき、脅威を提示。



【プレスマテリアルのダウンロード先】

<http://www.image.net/mediaambitiontokyo2019>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当:御船 pr@mediaambitiontokyo.jp / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858

MAT CONTENTS

01. 六本木ヒルズ

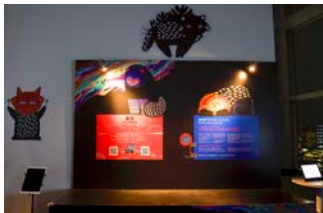
森タワー52階 東京シティビュー

[六本木]

場所：六本木ヒルズ／森タワー52階 東京シティビュー

日程：2019年2月23日(土) - 3月3日(日) / 時間：10:00 - 22:00

入場料：無料（東京シティビュー入場料が別途かかります）



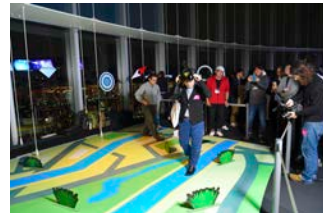
作家：Julie Stephen Chheng
作品：「真窓—タスキのめざめ」

タスキと呼ばれる精霊たちが踊り出す拡張現実 (AR) の冒険ゲーム。会場内いたる所で、あなたのスマホの中を精霊たちが自由に動きまわる。



作家：Thierry Fournier
作品：「The Watchers—眺めるもの」

東京の風景を捉えたライブカメラ映像が、実際の風景をバックにバーチャルな風景とリアルな風景が交錯する。



作家：Niantic x Pokémon
作品：「Pokémon GO AR展望台」

会場内にポケモンたちが出現。Microsoft Hololensを活用した「ポケモンズコープ」を通して現実空間に溶け込むポケモンを探してみよう。



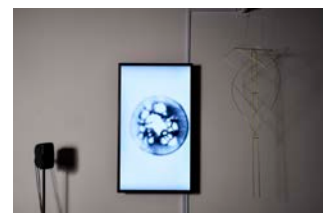
作家：亀井 潤 (CREATIVE HACK AWARD)
作品：「AMPHIBIO」

水中での呼吸を可能とする「エラ」を服のコンセプトに、世界が直面する環境（水）問題にポジティブなヴィジョンを示した作品。



作家：Francisco Norris (CREATIVE HACK AWARD)
作品：「ZELP (Zero Emissions Livestock Project)」

農業において地球温暖化の最大の要因と考えられているメタンガスを二酸化炭素に酸化させる牛用のウェアラブル装置のアイデア。



作家：Robin Jungers
作品：「Study for a surrounding entropy」

会場周辺の電磁場を捉え、日常空間に遍在するデータストリームの概念とその情報量の具現化、ありのままの美を提示する。



作家：IMA × the design lab (三浦雅美、板坂諭)
作品：「AI Mural」

芸術を学習したAIが現代の象徴を壁画として描く新しいアートを創出。AIはインターネット上から書くべき題材を抽出、描写する。



作家：PARTY
作品：「GANGU | 01 CAR」

大人には偽物のクルマであるが、子供には本物のクルマ。真贋を決するのはその人間であり、社会である。物事における真贋の本質とは何か。



作家：IMG SRC
作品：「Gate」

ディスプレイやプロジェクションの映像を再生したまま、ARと同期・マッピングする仕組みのプロトタイプから派生した作品。



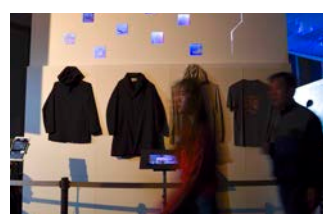
作家：ANOTHER FARM
作品：「Modified Paradise "Dress" "CAT" "ROOSTER"」

人間と関わり合いが深い「蚕」と「動物」を中心とした作品。発展するバイオアートとともに「Another Farm」を通して現代社会における芸術と科学の関わり合いの意味を問う。



作家：nor
作品：「before」

幾重の布のレイヤーによって生まれる「モアレ」と、その干渉の連続から生み出される「うねり」や「ねじれ」のように単純さと複雑さは常に共生的でお互いに絡み合っている。



作家：MINOTAUR INST. × THINK AND SENSE
作品：「MINOTAUR.INST.19AW」

「MINOTAUR INST.」のウェアに搭載される18個の機能を用いて視覚的に解説するとともに、都市のデザインコードをテーマにアーバンウェアの世界観を表現。

【プレスマテリアルのダウンロード先】

<http://www.image.net/mediaambitiontokyo2019>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当:御船 pr@mediaambitiontokyo.jp / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858



作家：Synesthesia Lab feat. evala (See by Your Ears)
 作品：「Synesthesia X1 - 2.44」

共感覚体験装置「シナスタジア X1」。44の振動子を組み込んだ装置に身を委ねると、音と振動、光に全身が包み込まれていく。



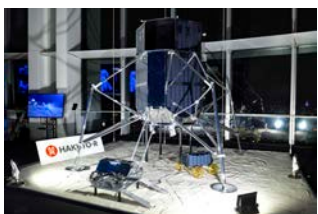
作家：加藤 明洋
 作品：「TRUSTLESS LIFE」

ブロックチェーンの未来に期待し、多様な生き方を実現する社会を、新しい「人生ゲーム」の形で疑似体験するボードゲーム。



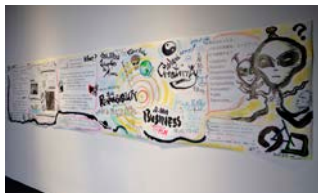
作家：WOW
 作品：「YADORU」

東北に古くから伝わる郷土玩具である「こけし」にWOWの持つ表現技術や解釈を加えた、身近な工芸を少し違った角度から見つめ直す試み。



作家：HAKUTO-R
 作品：「HAKUTO-R Moon Lander & Moon Rover」

月面探査プログラムを担う、実物大のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査ロボット）が登場。



作家：Art Thinking
 作品：「Interpreter for Alien」

別の惑星から来たエイリアンに対して、染みついた思考パターン説明をゼロから考え出し、新しい発想法を開発するワークショップの成果集。



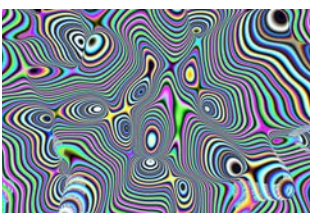
作家：落合 陽一(筑波大学 Digital Nature Group)
 作品：「風量と質量と」

「風量と質量と」をテーマに7つの作品を展示。イメージによる表現と物質による表現のはざまにある美しさを、独自の世界観で追及する。



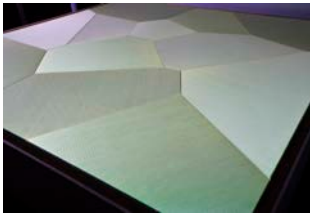
作家：見里 朝希
 作品：「マイリトルゴート」

オオカミに食べられてしまった子ヤギ達を胃袋から助け出すお母さんヤギ。しかし、長男のトルクだけが見つからない！



作家：田所 淳 + 佐藤 仁
 作品：「呼吸する都市」

8K解像度の3Dプロジェクションを用いて緻密に映し出される映像は、鑑賞者の音や動きといった気配に呼応して生成され常に変化していく。



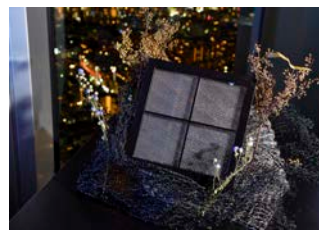
作家：noiz
 作品：「Voronoi Tatami TESSE」

アルゴリズムを用いた独自開発の技術によって、空間の形状に合わせて分割パターンを生成できる自由形状の畳。



作家：GROOVE X
 作品：「LOVOT」 ※3/2 - 3/3のみ展示

安全な家族型ロボット「LOVOT」に実際に触れてみて感じてみよう。ロボットと人の新しい関係が幕を開ける。



作家：筑波大学 Digital Nature Group



作家：Yannick Jacquet
 作品：「組曲 (Suite)」

絶え間なく揺らめくグラフィックを用いた、映像と音によるポリプティック作品。音は時間とともに進展し、複雑な倍音を生産する。



作家：脇田 玲
 作品：「Furnished Fluid - 家具づけられた流体」

デザイン模型とリアルタイム映像を一体化したインスタレーション作品。アート×サイエンスから、デザインの価値と魅力を再解釈する。



作家：LEXUS
 作品：「Lexus, Journeys in Design and Innovation」

自然界から得たインスピレーションへの旅のヒントとなる作品を紹介。構造発色による唯一無二のカラー、LC500h「Structural Blue」も展示。

【プレス材のダウンロード先】

<http://www.image.net/mediaambitiontokyo2019>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当:御船 pr@mediaambitiontokyo.jp / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858

02. TOKYO culture research

[六本木]



作家：Yspace

作品：「Yarinage MOON」

月面のクレーターから、大小と変化するバルーンを槍で射抜くVR体験スペース。
重力や温度変化も体現し、身体で体験することで、地球と月の環境の違いを体験することができる。

場所：六本木ヒルズ／森タワー52階 TOKYO culture research

日程：2019年2月23日(土) - 3月3日(日) 10:00 - 22:00

03. TOKYO MIDTOWN

[六本木]



「未来の学校祭」

世界的クリエイティブ機関アルスエレクトロニカと東京ミッドタウンがお送りする、エキシビジョンやパフォーマンス、ワークショップ等、世代を超えて楽しめるプログラムを通し未来の社会について考える新しいお祭り。

場所：東京ミッドタウン

日程：2019年2月21日(木) - 2月24日(日) 11:00 - 21:00

入場料：無料

主催：東京ミッドタウンマネジメント

04. アンスティチュ・フランセ東京

[飯田橋]

DIGITAL CHOC

「Digital Choc 2019」

アンスティチュ・フランセ日本によるメディアアートの祭典。今年のテーマは『スペースシップ・アース』。私たちは宇宙船地球号の乗組員であるとするならば、限りある資源はどのように使われるべきなのか？この壮大な問いに対するヒントを体感できる作品を紹介。

場所：アンスティチュ・フランセ東京 ほか

日程：2019年2月21日(木) - 3月17日(日)

入場料：無料

主催：アンスティチュ・フランセ日本

05. デジタルハリウッド大学

[御茶ノ水]



デジタルハリウッド大学大学院2018年度成果発表会

「デジコレ9 HYPERMUTATION」

デジタルハリウッド大学院の研究成果を幅広く発信する集大成の場。
Linkers《繋がりあう者たち》と呼ばれる14期生の活動を中心に、
IoT、AI、ブロックチェーンなどのテクノロジーを取り入れたビジネスプランなど修了課題制作の成果を発表する。

場所：デジタルハリウッド大学大学院 駿河台キャンパス

日程：2019年2月23日(土) 13:00-16:00

入場料：無料 主催：デジタルハリウッド大学大学院

06. 代官山 T-SITE

[代官山]



作家：GROOVE X

作品：「LOVOT」

あなたのもとにLOVOTがやってきた瞬間から、ちいさなLOVEにみたまされる日常が訪れる。
どなたでも簡単に扱える、安全な家族型ロボットLOVOTに実際に触れてみて感じてみよう。

場所：代官山 T-SITE GARDEN GALLERY

日程：2019年2月25日(月) - 2月26日(火)

入場料：無料

【プレスマテリアルのダウンロード先】

<http://www.image.net/mediaambitiontokyo2019>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当:御船 pr@mediaambitiontokyo.jp / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858

07. 九段 kudan house

[九段]



YouFab
Global Creative Awards 2018

「Global Creative Awards 2018」

常識を挑む。常識に抗する。常識をHackする。そんなスピリットに溢れた作品を世界中から募集、32カ国158作品から選ばれしファイナリスト16作品を一堂に展示。世界中のクリエイターたちの挑戦を見届けよ。

場所：九段 kudan house

日程：2019年2月17日(日) - 2月19日(火)、2月24日(日) - 3月3日(日)

※2月20日(水) - 2月23日(土)は休館日となります

入場料：無料 主催：YouFab2018事務局/FabCafe Tokyo

08. EDGEof TOKYO

[渋谷]



MUTEK.JP & EDGEof 共同企画
Digital Choc & Media Ambition Tokyo 協力

「Digi Lab: アートとテクノロジーの融合」

“アートとテクノロジーの融合”をテーマにQ&A、パネルディスカッションやライブデモを開催。

出演者：MACHINA & SHOHEI FUJIMOTO、YANNICK JACQUET (ANTIVY)、KEN MASUI & TETSUYA MIZUGUCHI (EDGEof)

場所：EDGEof TOKYO

日程：2019年2月26日(火)

※チケット予約に関しては公式HPをご確認ください

09. MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless

[お台場]



「ただ今絶賛準備中！ 美術館を立ち上げろ！」

話題の施設「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」約1万㎡の広大な敷地に密に配置された多数のプロジェクター、パソコンをどのように起動し、作品に命をとますのか？ 人気施設の裏側に潜入し、開館作業を経験できる体験型ワークショップ。また、実体験として「運動の森」エリアにある「重力にあらがう生命の森」で使用しているチームラボボールの準備作業をこの機会にチャレンジしてみよう。

場所：MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless

※開催日、申し込み日など、詳細は公式HPをご確認ください

詳細情報は公式WEB・SNSにて随時更新！

WEB <http://www.mediaambitiontokyo.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/mediaambitiontokyo>

Instagram [@mediaambitiontokyo](https://www.instagram.com/mediaambitiontokyo)

Organizer

Media Ambition Tokyo Association

MAT Partner

LEXUS INTERNATIONAL / 森ビル / Culture Convenience Club
JTQ Inc. / Rhizomatiks / Enhance / Mistletoe

Media Partners

WIRED JAPAN / 美術手帖

Community Partner

EDGEof

PR Partners

HiRAO INC / Getty Images Japan K.K.

Special Cooperation

アンスティチュ・フランセ東京 / デジタルハリウッド大学 / CG-ARTS
MORI Building DIGITAL ART MUSEUM : EPSON teamLab Borderless
東京ミッドタウン×アルスエレクトロニカ / YouFab Global Creative Award

【プレスマテリアルのダウンロード先】

<http://www.image.net/mediaambitiontokyo2019>

【取材及び本件に関するお問い合わせ先】

HiRAO INC 担当:御船 pr@mediaambitiontokyo.jp / Tel 03-5771-8808 / Fax 03-5410-8858